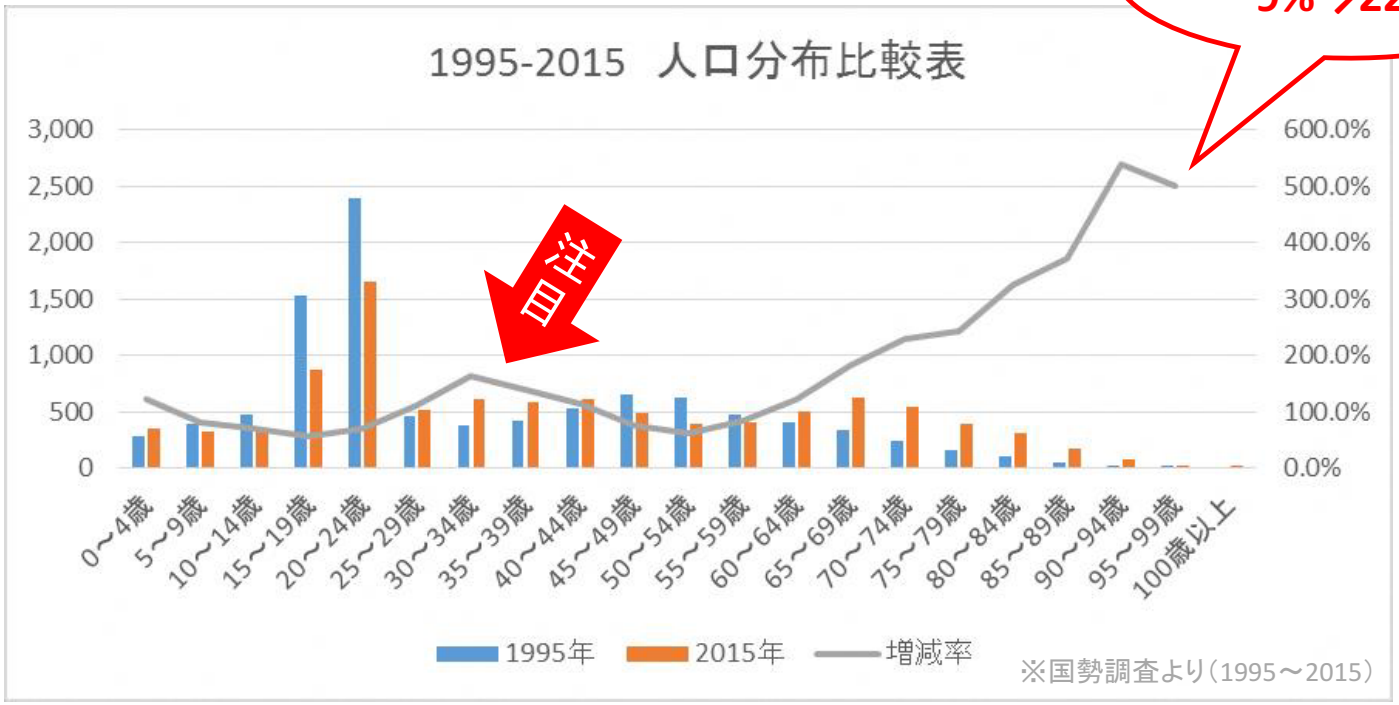
大谷学区

・大谷連合自治会　・・・　9つの自治会・町内会

（東大谷・西大谷・北大谷・洋光台・駿河台・伊庄ヶ丘・池の谷・片山・宮川）

大谷学区の現状

高齢化率
9%→22%



注目

		0～4歳	5～9歳	10～14歳	合計
年少人口（15歳未満）	1995年	279	397	468	1,144
	2015年	344	326	329	999
	増減率	123.3%	82.1%	70.3%	87.3%

注目

・高齢化が進んでいる。
・特に70歳以上の増加率が高い。

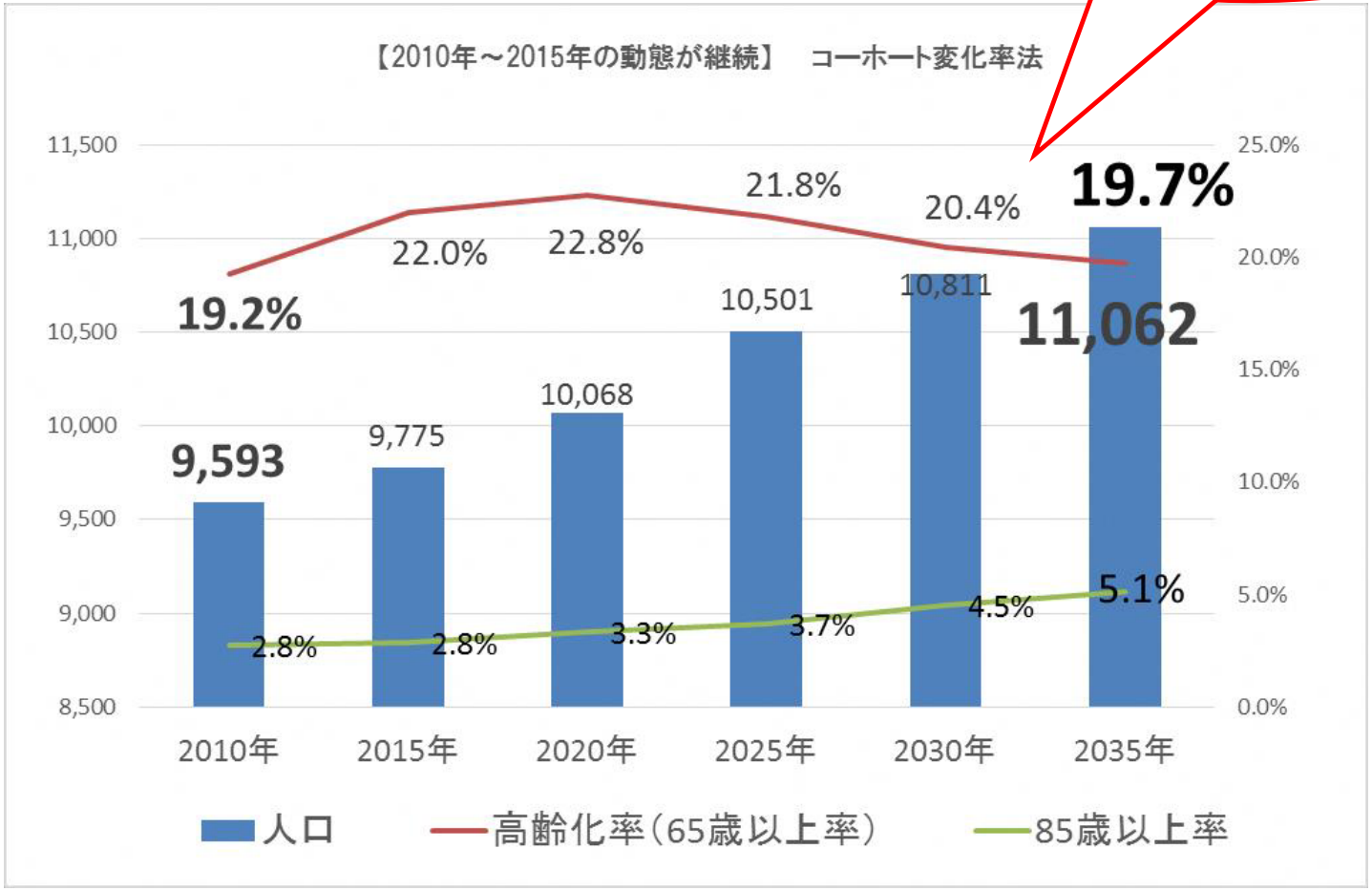
		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	合計
生産年齢人口（15歳～64歳）	1995年	1,528	2,389	461	377	424	527	655	624	480	409	7,874
	2015年	873	1,653	518	611	589	607	488	388	401	501	6,629
	増減率	57.1%	69.2%	112.4%	162.1%	138.9%	115.2%	74.5%	62.2%	83.5%	122.5%	84.2%

		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	合計
高齢者人口（65歳以上）	1995年	341	239	162	96	47	15	4	0	904
	2015年	618	546	394	311	175	81	20	2	2,147
	増減率	181.2%	228.5%	243.2%	324.0%	372.3%	540.0%	500.0%		237.5%

大谷学区の未来

高齢化率 20%
人口増加率 15%
…かなり特異な地域

大谷学区の人口および高齢化率の予測



★今回は「宮川町内会」の視点で課題と対策を考えていく。

※国勢調査より（2010～2015）

困りごと

一番の困りごと

後継者不足（担い手不足）

1．「町内会」を維持したい！

① 現状維持

② 現状維持するためには変化が必要

2．「町内会」に無理解・無関心な人たち

①町内会に所属しない

②所属はするが、活動に参加しない

③参加の仕方がわからない

★課題：どうやって想いを共有していくか。

理想の姿

①町内の仕事が共有され、分担できる。

②「町内会」の目的を住民全員が共有している。

③住民が助け合い、支えあえている。

ALL ATTITUDE, FOR JAPAN

困りごとの解決案

Step1. 業務の見える化、負担の軽減

①町内会の仕事、役割、イベントの一覧表化
・・・ 町内会のものと連合自治会のものを分けて把握

②仕事、役割、イベントの仕分け
・・・ 優先度の高いもの、低いもの
・・・ 簡素化・効率化
・・・ 融合・分割

③仕事、役割、イベントのマニュアル化（文書化）

★連合自治会の協力も必要になる。

困りごとの解決案

Step2.「町内会」自体のあり方・目的を共有するための場所、機会の創出

①「町内会」のあり方を考えるワーキンググループの設置
⇒町内会役員内で世代間の想いを共有し、今後の町内会を維持するための町内会のあり方を検討する。
⇒上記結果を踏まえ、必要があればアンケート実施。

②町内会活動のPR
⇒町内会ならではの活動
⇒積極的な声掛け
⇒接点のない世代へのアプローチ

今の私でも、活動できること

★少しずつ同じ思いを共有する仲間を増やす

町内会活動のPR／接点のない世代へのアプローチ

パパ・ママカフェの開設

特に0～5歳までの子どもの親世代

・・・同世代の交流を深めることでつながりを深める（横のつながり）

・・・地域のお祭りやイベントのPRを行い、
参加しやすい環境づくり（町内会への理解促進）

・今後、月一回ペースで開催（目標）
・町内会の皆さまには告知の協力を！

まずは2月あたりで1回開催（小規模）。

【目的】

①パパ・ママ世代の交流
②子育て世代としての困りごとの共有
③町内会に期待することなどの意見交換。

・意見は町内会にも共有します。
・将来的には「若い世代」と「先輩世代」をつなぐ場に。

★少しずつ同じ思いを共有する仲間を増やす